

## カンボジア村落開発促進のための 人道的地雷撤去支援報告書

第1四半期事業報告：2020年4-6月



**MAG (Mines Advisory Group)  
CAMBODIA**

#9AB, Street 446, Sangkat Toul Tom Pong I,  
Khan Chamkamorn, Phnom Penh, Cambodia

Tel: +855 (0)23 215 115

[www.maginternational.org/Cambodia](http://www.maginternational.org/Cambodia)

## プロジェクト概要

MAGはカンボジアでの地雷対策部門をけん引し、貢献してきました。1992年に事業を立ち上げてから、8,300万㎡以上の安全な土地を、地雷被害を受けたコミュニティに返還し、それによって190万人以上の人々が直接的に受益しています。MAGは地雷やその他の爆発性戦争残存物(ERW: Explosive Remnants of War)による汚染の影響を軽減するために活動し、バタンバン州内の地雷被害を受けたコミュニティを支援しています。

テラ・ルネッサンスからの多額の資金提供により、12ヶ月間のプロジェクト「カンボジアのコミュニティ開発を促進するための地雷調査と撤去」では、優先地域の技術調査と撤去を実施するための機械操作ユニット(MOU: Mechanical Operations Unit)をMAGが1つ配備することが可能となりました。このプロジェクトにより、少なくとも25万㎡の安全な土地がコミュニティに返還され、発見された全ての地雷やその他の爆発性戦争残存物が安全に破壊され、4,148人が受益することになります。

### 目的

カンボジア農村地域における、地雷に汚染されたコミュニティの長引く貧困の削減と社会経済的復興に、地雷の撤去を通して貢献する。

### 目標

コミュニティ発展の機会を最大にするために、地雷に汚染されていると疑われる地域での機械による調査と地雷の撤去を支援する。

## プロジェクト成果概要

活動	期待される全成果	第3四半期達成成果	達成率(%)
DIGGERD-250機械操作ユニットの調査と撤去活動によって返還された土地	250,000㎡	63,537㎡	26%
プロジェクト実施地域で発見された地雷とその他の爆発性戦争残存物の安全な撤去と破壊	該当なし	2つの対人地雷を破壊	該当なし
受益者数 (人数)	4,148	644	16%

## プロジェクト実施

第1四半期中の4月中は、新型コロナウイルス拡散防止の措置のため、MAGの全チームが活動を停止していました。5月初旬の新しい作業サイクルでは、MAGはこのプロジェクトの下にMOUチーム1つを派遣し、バタンバン州サムルート郡のオウ・タティエク村内の2つの事業地で調査と撤去活動を実施しました。

MOUチームはDIGGER D-25という機械を利用して、バットアンバン州サムルート郡オウ・タティエク村で63,537㎡の土地の返還を行いました。



撤去活動を行う中で、MOUチームはそのコミュニティの土地から対人地雷を2つ発見し、安全に破壊しました。



返還された土地によって、4家族23人が直接的に受益し、147家族621人が間接的に受益しています。

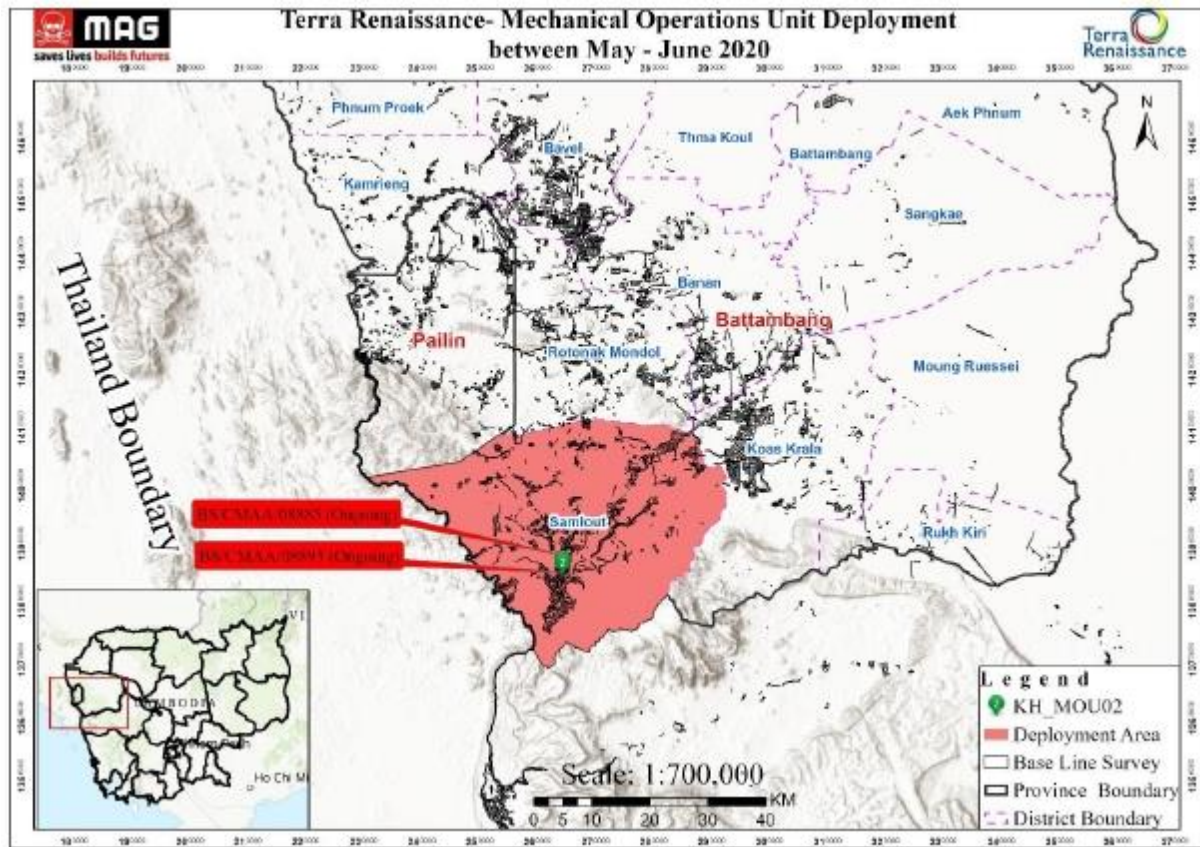


## プロジェクトの成果と影響

この第1四半期中に返還された土地と危険物が撤去されたという事実は、サムルート郡のコミュニティの生活と社会経済に大きな影響を与えることとなります。なぜなら、汚染された地域で危険物の撤去がなければ、コミュニティは土地を利用することができないので、家族が作物を育てられなかったり、作物の多様化を行うことができず、命の危険にさらされたままになってしまうからです。

MAGによって危険物を撤去され返還された地域へは、コミュニティだけでなく、政府機関や開発機関もその土地へ安全にアクセスできるようになります。これらの機関は長期的な支援と復興をその地域に提供し、紛争からの復興と貧困から抜け出すことを可能にします。





## 追加情報

### 新型コロナウイルス発生に関する最新情報

カンボジアで確認された新型コロナウイルス感染症の感染者数は、2020年4月1日の109人から6月30日には141人に増加しました。これは、おおよそ3日に1人の割合で新たな感染者が出たということになります。2020年6月30日現在、カンボジアでは11人の新型コロナ感染症患者がいます。その11人すべての患者は海外で新型コロナウイルスに感染し、カンボジア国内に持ち込まれたものです。新型コロナウイルス感染症の検査はすべての州で受けることができ、カンボジアではウイルスの感染率は依然として低いまです。

政府が課した制限には、50人以上の集会の禁止や、学校や映画館の閉鎖の継続などがあります。市民の移動や集会を減らすために、政府は4月13日から16日に予定されていたクメール正月のすべての祝賀行事を年内に延期しました。

新型コロナウイルス発生への対応として、MAGは社内のスタッフと積極的に協力し、関連する利害関係者と緊密に連携して動向を監視し、適切な予防・緩和策を実施してきました。MAGは、関連情報の発信や、手指消毒剤・マスク・塩素タブレット・手袋の提供、および活動拠点での新型コロナウイルスの焦点の形成など、スタッフへの大幅な支援を行いました。

MAGの活動地域であるバタンバン州を含め、3月にカンボジアで新型コロナウイルス感染者数が急増したことを受けて、MAGは以下の理由から、4月の短い活動サイクルでは現地にチームを派遣しないことを決定しました。

- 新型コロナウイルスの感染の疑いがある患者の検査基準は非常に限られており（現在もそれは続いています）、ウイルスの拡散の可能性についての情報がほとんどないため、感染が発見されない可能性が高くなっていました。  
 3月の作業サイクルの終わりにチームメンバーがそれぞれのコミュニティに戻ってくると、チームの共同宿泊施設での新型コロナウイルスの発生は大きなリスクとなっていました。

- 隣国からの入国制限やカンボジア国内での移動制限のため、活動地で事故が発生した場合に、救急ヘリや災害救援活動がどのように機能するのかが不明でした。
- ほとんどの外国人スタッフは、国外に出ている、自国や地域での渡航制限や医療や安全面での懸念から、戻ってくる事ができず、その結果、経営の管理機能が著しく低下していました。
- MAGの4月の作業サイクルは、4月中旬にクメール正月の祝賀行事があったため、わずか8日間でした。そのため、失われた作業日数はそれほど多くなく、この失われた日数を年度後半のさらなる作業サイクルで補うことができる可能性があります。

### **プロジェクト中の写真**

これらの写真は、第1四半期中にバタンバン州サムルート郡で行われたMOUチームの活動中に撮影されたものです。

